

岡山市の避難所について

令和 7 年 防災に関する地域説明会
岡山市危機管理室

本日の説明内容

1. 開設する避難所
2. 指定避難所
3. 指定職員
4. 開設運営時の業務概要
5. 避難所の運営
6. 避難所開設に関連すること
7. 避難場所の備蓄物資・備品

1.開設する避難所

- 岡山市においては、避難指示等の発出に連動して、当該地域の避難所を開設します。
- 一般に、水害・土砂災害においては限定的な地域に、地震・津波においては広域に開設します。

※事前開設

台風等で、夜間に災害が起こる可能性がある場合、明るい時間帯に安全に避難できるよう、一部の避難所を避難指示等の発令前に開設します。

市内全域にわたり、中学校区あたり1カ所（原則、中学校）を開設します。

2.指定避難所

○指定職員が開設・運営する避難所

計175カ所

1) 市立学校・公民館等

- ・ 小学校86校、中学校35校、義務教育学校 1 校、公民館37館(分館除く)

☆災害種別（洪水・土砂災害・高潮・地震・津波等）により
避難が危険な避難場所は開設しない。

2) 小学校代替の協定避難場所

- ・ 岡山大学第二体育館（←津島小）
- ・ 御津南保育園（←御津南小）
- ・ 馬屋上コミュニティハウス（←馬屋上小）
- ・ 迫川コミュニティハウス（←迫川分校）
- ・ グレート岡山ゴルフ倶楽部（←竹枝小学校）

3) 県立高校

- ・ 岡山操山、岡山城東、岡山一宮、岡山南、瀬戸南の5校

4) その他

犬島自然の家、山南学区旧小学校4校、 IPU環太平洋大学第二キャンパス

- #### 5) 状況によっては、上記以外の避難所について指定職員の派遣を行う場合がある。

3. 指定職員

- 避難所開設の指示を受け、市内の小学校・中学校・公民館等に派遣され、**避難所の開設・運営等に従事する職員。**
- 避難所あたり、**1班2名×2～3班体制**（2～3交代勤務）
- 175カ所の避難所に900名余の市職員を年度当初に指定し、
現地確認等を実施。

4. 開設・運営時の業務概要

1) 開設時の業務概要

- ① 建物・周辺の状況を確認（避難所として使用の可否）
- ② 受付を設置
- ③ 世帯ごとの「避難所利用者登録票」の記入を依頼
- ④ 備蓄物資の確認・配布
- ⑤ 情報収集体制（テレビ及び緊急告知ラジオ等の設置）
- ⑥ 各種案内を掲示

2) 開設後の維持・運営

- ① 避難者数の管理、本部へ報告
- ② 支援物資の配布
- ③ 避難所の巡回、定期的な換気・清掃の実施
- ：



地域の皆様のご支援・ご協力が不可欠

5. 避難所の運営

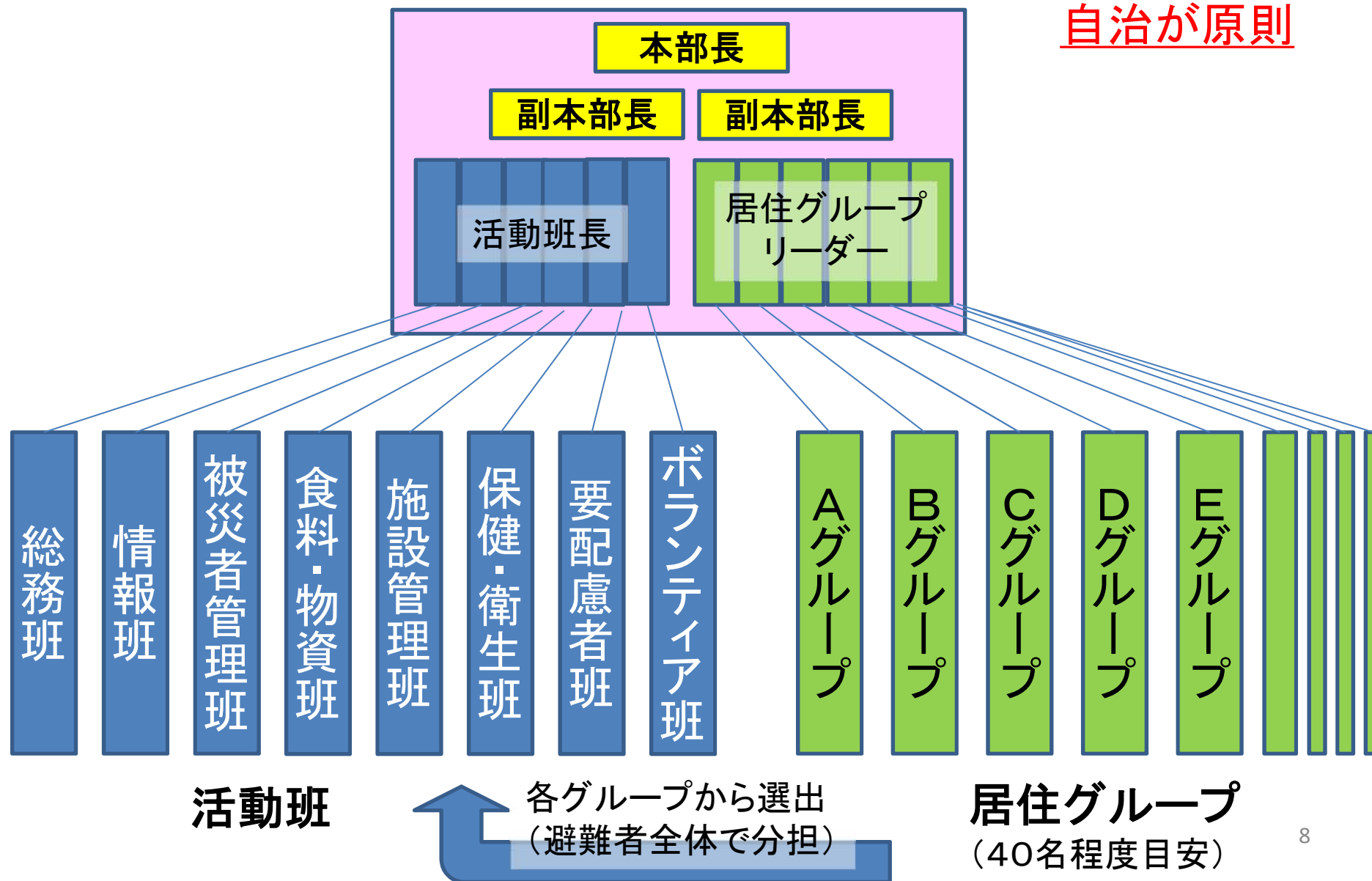
基本的な考え方

1. 避難所は避難者自身が運営（自治）
2. 避難所運営本部を中心とした避難所運営
3. 避難所運営のため、機能別の活動班と
居住単位ごとの居住グループを構成

避難所の運営体系

運営本部

自治が原則



6. 避難所開設に関連すること

◆車中泊避難

ハザードマップにより浸水被害想定のない地域の避難所の運動場を開放
＜対象校＞

- 小学校 建部・五城・御津・蛍明・桃丘・馬屋下・横井・鯉山・岡山中央・清輝・竜之口・富山・旭操・城東台・豊・旧大宮・旧太伯・妹尾・箕島・興除・彦崎・灘崎・七区・甲浦
- 中学校 建部・御津・香和・岡山中央・岡輝・東山・富山・灘崎・妹尾・興除・光南台

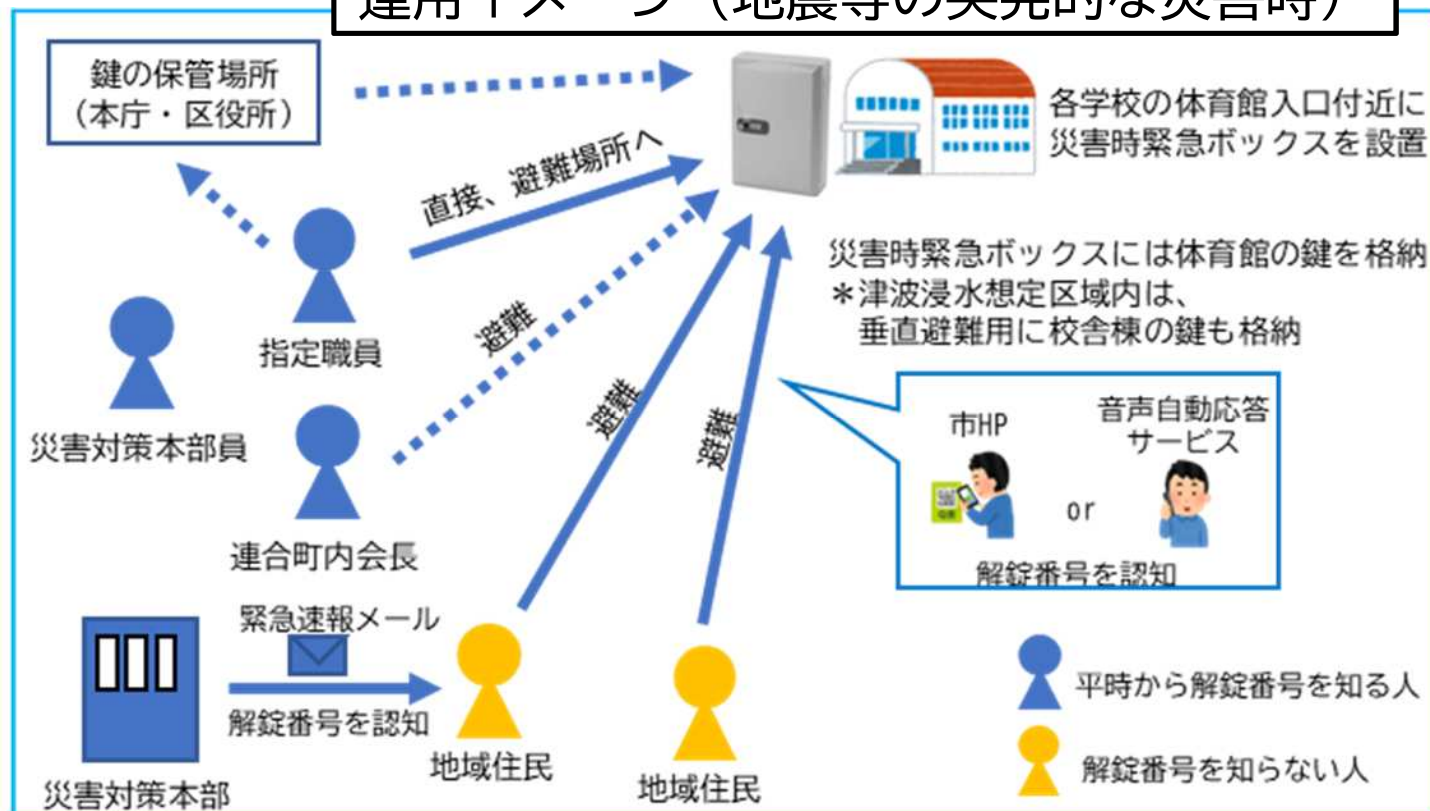
◆ペット避難

- ・ペットを連れて避難する場合はケージ等に入れ、屋外で避難させます。
(避難所屋内には入れません。)(大型犬はリードで繋がします。)
- ・ペットの管理は飼い主が責任でお願いします。
- ・ケージ、餌、ペットシーツなどは、飼い主に準備していただきます。

◆災害時緊急ボックスの配置(新規事業)

地震発生時に、学校職員が不在かつ指定職員が到着しない場合にも避難者を受け入れられるように、体育館の鍵や(浸水予想地域の)校舎棟の鍵を格納するボックスを配置します。

運用イメージ(地震等の突発的な災害時)



7. 避難所の備蓄物資・備品

○避難所運営ボックス

- ・全指定避難所とコミュニティハウスに配置
- ・小中学校では、通常、体育館ステージ下等に配置

○備蓄物資

- ・全小学校、中学校（プレハブまたは空き教室）
- ・県立高校5校等（プレハブ備蓄倉庫）
- ・スペースが確保された公民館

➡（長期化や多人数で）物資が不足する場合
区本部や集中備蓄倉庫から避難所へ配送

避難所運営ボックス

○避難所運営ボックス(大)

ビブス・LED懐中電灯・LEDランタン・ウエス
布テープ・養生テープ・立入禁止テープ
乾電池（単1・単3）・メガホン・延長コード
特設公衆電話（発信専用小・中学校のみ）



避難所運営ボックス(大)

○避難所運営ボックス(小)

ボールペン・ごみ袋・緊急告知FMラジオ
避難所運営マニュアル、避難者受付票等様式
外国人情報シート（英語・中国・ハングル）
油性ペン（黒・赤）・はさみ・セロテープ
用箋ばさみ・レジ袋（靴用）・レポート用紙
ヘルプマーク



避難所運営ボックス(小)

○感染症対策ボックス

ペーパータオル・体温計・マスク・消毒液
液体石鹼・使い捨てビニール手袋・ゴミ袋
養生テープ・巻尺・掲示用注意喚起ポスター
ガウン・フェイスシールド

市立小・中学校の標準的な備蓄物資(備品等)

品 目	数 量
① 多目的テント	4張
② パーテーション(テント型)	5～10張
③ 簡易ベッド(発泡PP製)	5～10床
④ スポットクーラー	2～4台
⑤ 簡易トイレ	4個
⑥ 発電機(カセットガス式)	1台
投光器	1基
テレビ・室内アンテナ	1セット

①多目的テント



②パーテーション



③発泡PP製簡易ベッド



④スポットクーラー



⑤簡易トイレ



⑥カセットガス型発電機



市立小・中学校の標準的な備蓄物資(消耗品等)

	品 目	数 量	箱数
①	飲料水(500ml)	504本	21箱
②	アルファ化米	1000食	20箱
③	クラッカー	560食	8箱
	紙おむつ(子供用)	4サイズ	各1箱
	紙おむつ(大人用)	3サイズ	各1箱
	尿とりパッド	170枚	1箱
	生理用品(ナプキン)	468枚	1箱
	排便収納袋	2500セット	25箱
	トイレットペーパー	100巻	1箱
	マスク	600枚	3箱
	ブルーシート(3.6m×5.4m)	5枚	1箱
	毛布	500枚	50箱
	カセットガスボンベ	24本	8箱

①飲料水 ②アルファ化米



③クラッカー



最後に

- 避難所の開設・運営には、皆様のご理解・ご協力が不可欠です。当初は指定職員を手助けしていただき、その後は積極的に避難所運営に携わるよう、お願いいたします。
- そのため日頃から、避難所までの避難訓練（経路確認）、受付訓練、備蓄物資取扱い訓練などを行い、「共助」の精神を高めるようお願いいたします。

避難所資材体験

発泡PP製簡易ベッド



簡易トイレ＋排便収納袋



パーティション

